

ボクのワタシの 学校自慢

- Vol.7 -

足立区立加賀中学校 第一弾

『ボクのワタシの学校自慢』では、鹿浜地域学習センター近隣中学校の生徒の皆様から伺った、学校自慢をご紹介します。

10月号からは加賀中学校を特集します。地域の方にも中学校の活動を知っていただいて、もっと身近に感じてもらいたいと思います。

生徒が進行する特別授業

準備から当日の授業まで

今月号から紹介する足立区立加賀中学校では、「生徒会特別授業」という取り組みを年に1回行っています。この取り組みは、生徒会を中心に生徒達が進行役となって行う授業です。特別授業の担当になった生徒は「授業者」と「サポーター」の役割に分かれて準備から当日の授業まで行い、先生は見守りに徹します。

授業ではテーマが設けられ、それについて話し合います。他学年との交流も兼ねて、全学年合同で行っています。



▲生徒会特別授業の様子

今回のテーマは「将来の設計図」

7/13(木)に行われた生徒会特別授業では、「将来の設計図」がテーマでした。

これまでの出来事をふまえ、将来の夢または理想の姿に向かってどう努力していけばいいのか。「授業者」からの質問とワークシートに沿って班内で話し合い、その中で1番良いと思った案をクラス内に発表しました。授業の最後には、設計図をもとに将来について考えるために、18歳の自分へ向けた手紙を書きました。



▲マンダラートで学習している様子

生徒からのコメント

生徒会特別授業で授業者とそのサポーターを務めた生徒にインタビューしました。

特別授業のために5月の中旬ごろから「授業者」と「サポーター」で準備をしました。授業者は、「皆が参加しやすい授業」を考え、サポーターは「授業を円滑に進めていくにはどうするか」を考えました。

自分たちで考えて授業するのは大変でしたが、やりがいもありました。授業をやりきったという経験と達成感は私たちの自慢です。

(授業者・サポーター担当生徒)



▲特別授業の授業者とサポーターの生徒

制服がリニューアル!



▲加賀中学校新制服(写真は夏服)。ポロシャツ+ハーフパンツなど自分好みの制服を着ることができます。

令和5年度の新1年生から加賀中学校の制服がリニューアルしました。伸縮性抜群のストレッチ生地を使用し、洗濯機で丸洗いが可能など機能性にも優れているほか、夏服用のハーフパンツなどオプションも充実。また、ネクタイ、リボンを男女関係なく身に着けることができます。

取材を受けてくれた生徒からは、「暑いときにハーフパンツを履けるのがありがたい」、「女子でもネクタイをすることができたり、ズボンがはけるのは嬉しい」、「その日に合わせて着る服を選べるのが楽しみの一つ」といった声がありました。中には制服の良さで加賀中学校に入学した生徒もいるほどです。

足立区立加賀中学校紹介

<創立>昭和59年4月

<基本理念>誰もが生き生きと自発的に活動し、自己有用感を育む学校を創る

<教育目標>①学ぶ人(生涯学び続ける人)
②鍛える人(心身の健康)
③思いやる人(豊かな人間性)

加賀中学校は令和5年度で開校40周年を迎えます。



▲加賀中学校外観

次回予告

加賀中学校で行われる生徒会選挙を取材します。